

ご購入者さまの暮らしのアイデアをご紹介します

MY HOME IDEA

暮らしの情報
災害対策
LIVING INFO.

今回は防災対策をご紹介します! 簡単で手軽、はじめての防災対策にピッタリです

地震対策



突っ張り耐震ポール
カップボードや冷蔵庫などの転倒防止対策として、突っ張り耐震ポールを設置した事例。突っ張るだけで工具不要、取り付けも簡単!



キッチン背面に高い収納を設置しない
パントリーがある間取りでは、カップボードをパントリー内に設置し、そもそもキッチンに置かないという対策も。パントリー内での転倒や食器の飛散があっても、被害を小さくする効果が期待できますね



番外編 停電時の冷蔵庫対策
凍らせた飲料ペットボトルを冷蔵庫内の最上段に置くことで、庫内の冷気を一定時間保てくれます。もちろん、保冷剤などでも代用 OK!

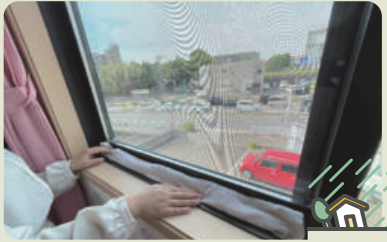
台風対策



シャッターを閉める
飛散物で窓ガラスが割れないようにシャッターを閉めましょう



プランターなどは屋内に入れる
屋外に置いている鉢やプランターは飛んでいかないように玄関や屋内に入れておきましょう



サッシにタオルを詰める
雨の吹き込み防止のためにサッシの隙間にタオルを詰めておきましょう。意外と入ってきます(汗)

不動産 GUIDE

知ったクガイド



耐震等級

たいしん
どうきゅう

ジモト不動産会社が住まいと暮らしの豆知識をご紹介します!

耐震等級は、建物の耐震性能を評価するための基準で「住宅性能表示制度」に基づいて定められています。1から3までの3段階に分かれており、それぞれの等級は以下のように定義されています

耐震等級1

数十年に一度発生する中規模地震（震度5強程度）に対して損傷しないこと、そして数百年に一度発生する大規模地震（震度6強から7程度）に対して倒壊・崩壊しないことが基準

耐震等級2

耐震等級1の1.25倍の地震力に耐えられる性能を持つ等級。主に学校や病院などの避難所として利用される建物に求められる

耐震等級3

耐震等級2の1.25倍の地震力に耐えられる性能を持つ等級。消防署や警察署など、災害時に重要な役割を果たす建物に求められる最高レベルの耐震性能

耐震等級 

3

2

1

1.25倍
1.25倍

参照国土交通省「住宅性能表示制度」
日本建築学会「建築物の耐震設計に関する基準」

耐震等級は、建物の設計段階で構造計算を行い、必要な性能を確保するための指標として利用されます。等級が高いほど地震に対する安全性が高いと評価されます。住宅を選ぶ際には、耐震等級を確認することで、その建物がどの程度の地震に耐えられるかを判断することができます

ご紹介いただいた方・ご紹介された方
双方にご紹介特典を申し上げます。

10万円プレゼント
□新築分譲マンション
□新築戸建て

5万円プレゼント
□リフォーム済み住宅

ご紹介キャンペーン実施中

大英産業では、ご紹介いただいたお客様がご成約になると「ご紹介いただいた方」「ご紹介された方」双方にご紹介特典をお贈りしています

詳しくは
当社サイトを
ご覧ください





DAIEI

公式SNS

Instagram・X



大英産業では SNS による情報発信を行っています! 住宅情報だけでなく、住まいや暮らしのお役立ち情報やお得なキャンペーン情報も発信していますのでお役立て下さい。そして是非いいね! とフォローを!

編集後記

前号の「熱中症対策」に引き続き、気候変動の影響から激甚化が進んでいると言われている災害ですが、今回の企画をまとめることを通じて、編集部でも「さすがに自分もやっとなか」と話題になりました。個人でできるグッズの備えだけでなく、地域の方々も協力して、自然の猛威に立ち向かいたいと思います。
(編集部)

Lively

12号
September
Take Free



DAIEI

大英産業 金曜誌 ライブリー September 令和7年9月30日発行 第12号 発行・編集 大英産業株式会社 経営企画室 <https://www.daieisangyo.co.jp/> 〒807-0075 福岡県北九州市八幡西区下上津役4-1-36 Tel 093-613-5500

Motto Jimoto ga Sukini naru Paper



もっとジモトが好きになる
マチとヒトをつなぐライブリー

保存版
おうち防災
はじめての一步

河内貯水池 (福岡県北九州市)

保存版

前号の「熱中症対策」に続き、今回は「防災対策」をお届け！

おうち防災ははじめの一步

もともと地震や台風が多い日本、
特に最近は増えている気がしますね

気になっているけど、何から始めたらいいのか分からない...
そろそろ防災を考えたい方に、分かりやすくポイントをまとめました！



SAIGAI 03



03 火災対策

- **電気機器の電源確認**
使用していない機器のコンセントは抜いておく、古い配線や延長コードは使わない、特に旅行などで長期に家を空けるときはマスト！
- **ガス機器の点検と管理**
ガスコンロやガステーブの使用後は、必ず元栓を閉めたかをチェック。定期的に機器自体の点検も
- **防災製品の利用**
カーテンやカーベットは「火が付きやすい」という前提で、防災加工されたものを選ぶ
- **消火器の設置**
地震対策と同様、キッチンやガレージなど、火災が発生しやすい場所に設置できるとベター

SAIGAI 04



04 津波・洪水対策

- **ハザードマップの確認**
地域のハザードマップを確認し、自宅が津波や洪水の区域内か把握
- **避難場所と経路の確認**
自宅周辺の高台や、行政指定の場所を事前に把握し、そこまでのルートを家族全員で共有。複数のルートを確認できればさらに安心
- **地域コミュニティとの連携**
地域の防災訓練には積極参加！近隣・住民との情報共有で、災害時の対応がスムーズに

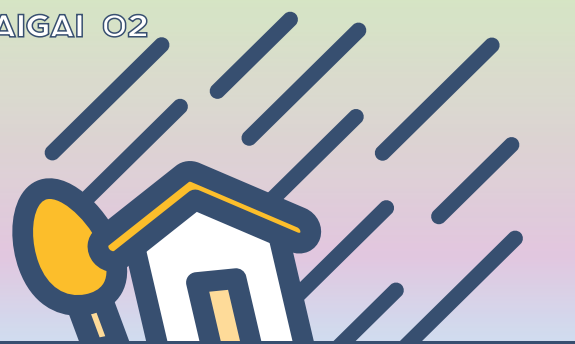
SAIGAI 01



01 地震対策

- **家具の転倒防止**
本棚・食器棚・クローゼットなどの背の高い家具を、L字金具・突っ張り耐震ポール・固定ベルトなどでしっかり固定
- **ガラスの飛散防止**
地震によるガラスの破損は、避難時の障害になるなど大きな二次災害に。フィルムを貼ることで飛散防止を
- **照明器具の固定**
天井から吊るすタイプの照明器具は、しっかり固定することで落下を防止
- **防火対策**
地震の二次災害で怖いのは火災。家庭用消火器があれば設置場所・使い方を確認して家族で共有

SAIGAI 02



02 台風・竜巻対策

- **窓やシャッターの補強**
窓ガラスに段ボールや飛散防止フィルムを貼る、雨戸やシャッターを閉めることで、強風による破損・飛散を防止
- **屋外のもの固定・収納**
庭やベランダの植木鉢・家具・洗濯物干しなど、飛ばされやすいものは固定するか、室内へ収納
- **家の周囲の点検**
屋根や外壁を確認し、破損がないかを点検。特に、瓦やアンテナの緩みは要チェック
- **車の移動**
車を安全な場所に移動させ、強風による被害を防ぐ。特に、木の下や電柱の近くには停めないように注意

共通の対策ポイント

防災グッズの準備

- ☐ **食料** 備蓄量の目安は「最低3日分」
飲料水：一人1日3L
非常食：長期保存が可能な缶詰・レトルト・乾パンなど

それ以外

懐中電灯・携帯ラジオ・予備電池・モバイルバッテリー・
救急セット・防寒具・雨具・簡易トイレ・ビニール袋・ラップ・
筆記用具とメモ帳・現金

避難経路の確保

- ☐ **避難先**
地域の指定避難所や広い公園、高台が一般的
台風・竜巻の場合は地下室や窓のない部屋
建物内の安全な場所で待機し、
避難指示が出れば速やかに指定避難場所へ移動

経路

道幅・障害物・高低差を考慮
災害に合わせて複数のルートを検討しておく

まとめ

今回のポイントは入門編。対策はまだまだ他にもたくさんありますので、これらの知識をベースに、ご自身でどんどん対策を深めていってください！「Lively」を手にとっていただいたことをきっかけに、今日からアクションしてみませんか？



ネットのデマに注意



情報源の確認

信頼できる公式な情報源からの発信がファクトチェックを。SNSからの情報は発信者の信頼性をしっかり確認

複数の情報源を比較

一つの情報源だけでなく、複数の信頼できる情報源から集め比較検討

デマ拡散しない

確認されていない情報を自ら拡散しないように要注意

冷静な判断

最終はコレが大切！
常に感情をコントロールして冷静さを失わない

ネットの普及に伴って、災害時にデマが拡散されるケースが増えています。自分と大切な人の命を守るためにも、正しい情報を掴むことが大切